（第七千六十九號）（火曜日）THE IWAKIJIHO 昭和十二年十一月九日（第三種郵便物認可）（大正八年三月七日）

夕刊

磐城時報

八日

福島縣平市鹿島町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
福島縣平市鹿島町十四
印刷所 加納活版所
福島縣平市鹿島町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ケ月金壹錢
廣告料二行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

平市の保健所 平市會で協賛

敷地と建設費を提供し 八幡小路に設置

保健所法第三條による保健所は平市に設置の交渉があつた事既報の如くであるが平市では八日の市會に諮り市内八幡小路三三番地に敷地三百坪を提供（無償貸與）する事、建設費中に二千圓を寄附する事を滿場一致可決した。同保健所の概要左の如くである。

△目的

國民の保健を増進し体位の向上を計るため保健思想を啓發し日常生活に於て衛生に留意せしめ疾病豫防に就ても指導をなすを目的とす

△保健所の事業

一、衛生思想涵養のため講習會、講演會、懇談會等開催及助成し衛生參考員の展覽、宣傳資料の配布

二、榮養の改善及び飲食物の衛生を計るため主婦に對する日常食品の榮養改善指導、農繁期の共同炊事、學校給食及び工場給食の榮養改善の指導、飲食物腐敗防止、有害飲食物用器具、野菜洗場の改善、誤用し易き有害食品に關する指導

三、衣服、住宅、其他環境衛生を計るため衣服、家屋、臺所、便所、飲料水下水溝、汚水溜、汚物掃除、肥料溜の改善指導

四、産婦及び乳幼児の衛生計るため妊産婦及び乳兒の健康相談、訪問による保育、乳兒及幼兒の榮養、人工榮養品調理、分娩用具、乳兒服の指導

五、疾病豫防のため結核患者の療養相談、結核患者の療養指導、傳染病の豫防、トラホーム、寄生虫病、花柳病、家屋物件の消毒方法、救急處置の指導

六、健康の増進を計るため理化學的又は細菌學的檢査及其指導、一般開業醫よりの專門的相談、開業醫の本所内設備の利用、運動休養の奬勵及指導、學校衛生、工場衛生指導

市參事員の補欠 鈴木氏に決定

平市會は八日午前十時から開き市參事會員補員補欠として議長指名で鈴木光吉（市政會）に決定、公會堂建設委員に川崎文治氏を推し過般の市會に於て十四名宛の議員對立し延期中であつた同問題も圓滿に解決した

水道鐵管事件で 青沼市長の意中

市會に誠意を披瀝

平水道部の鐵管盗難事件に關しては既報の如く去月二十五日市參事會を開き損害賠償の手續その他について論議が交されたが、之に對し青沼市長は

資任は感じてゐる、同事件を辯護士の手を借りずに訴訟した事は市に成る可く損害をかけない意志でやつた事である、同事件の損害は決して市に迷惑をかけないと深く決心してゐる

と、その決心を述べた。

▲教員に退職金

平市では退職教員に左の如く慰勞金を給與する事になつた。

十二圓元平第二校訓導橋本正雄、六十圓佐竹ヒサ、十二圓第三校小野絢子、十圓第一校菅波國尚。

兩角部隊の勇士 石城出身の戰死者

上海戰線に於ける兩角部隊その他東北健兒の奮鬪實に目ざましきものあり、國民感奮から非常な感謝感激の聲を浴びてゐるが、去月下旬の總攻擊でその犧牲者も相當多く、更に石城郡内で左の勇士が名譽の戰死を遂げた旨發表された。

赤津上等兵は

錦村の指導員

戰死した赤津字衛門（二七）君は錦村字大倉出身、上等兵で長明氏長男、農業を營み青年學校の指導員を勤め模範青年であつた、實家には長明氏（五六）母しのさん（四二）妻いわさん（二四）と一男一女がある。

▲蛭田實一等兵

石城郡上遠野村字西牧一等兵蛭田實君（三二）は田人村字旅人傳太郎氏弟で上遠野村で大工をしてゐた、妻きんさん（三〇）がある。

▲齋藤新一君

荷路夫村字明下上等兵齋藤新一君は上海戰線で名譽の戰死を遂げた旨原隊から通知があつた。

▲管野一等兵

内郷村字川平一等兵管野清一君は茨城縣北相馬郡小絹村生れで同村長左工門方に養子となり磐城炭礦採炭業後上京してゐた、出征に當り『生きては還らぬぞ』と決意もかたく勇躍出征しただけ戰闘は目覺ましいものがあつたらうと言はれてゐる。

▲北郷一等兵

内郷村字御殿磐城炭礦社宅一等兵北郷久二郎（三一）君は同郡磐崎村出身、出征前まで磐城炭礦住吉坑の採炭夫をなしてゐた、遺族は母ためさん（五九）妻なかさん（二九）との間に三男一女がある。

▲國井四郎君

鹿島村下倉持出身國井四郎上等兵（二八）は農留吉さん（六八）の長男で出征前は船大工を營んでゐた、滿洲事變にも出征した勳八等の勇士、遺族は兩親と兄惣三郎さん夫婦、外數名がある。

模範青年

高萩上等兵

石城郡玉川村上住吉出身高萩平穂上等兵（三一）は農八十次さんの長男で一人の子供がある、村では模範青年の評判が高かつた。

平市出身で 最初の戰死者

丸山芳春君

平市五丁目一六出身丸山芳春伍長（二八）は平市最初の戰死者で、商、春藏氏（五二）の長男、出征前は夏井川改修工事場に勤めてゐた母クニさん（四八）は語る

數日前伍長に進級したといふ知らせが近所の人にあつたので喜んでゐたところでした、私から云ふのもなんですがあれは町内の褒められものでした

▲大平上等兵

赤井村鹽出字江田出身大平光毅上等兵は上海に於ける〇〇方面の激戰に參加し敵兵をなやます戰闘をなし遂に名譽の戰死を遂げたのである。實家には父親保房氏（五五）と祖母はるさん（七三）妻こさん（二五）との間に長女洋子さん（二つ）があり、弟妹四人がある。長男に生れた光毅上等兵は一家の柱石となり在郷中は模範青年であつた。

▲吉田秀男君

赤井村西小川出身吉田秀男一等兵（二九）は農松次郎さん（六五）の長男で妻ツヤさん（二二）との間に長男勝君（二）がある、義弟藤男君は騎兵一等兵として北支方面に活躍中。

▲江尻一等兵

磐崎村下湯長谷出身江尻英治一等兵（三六）は廿年前上京杉並區大沼一丁目に居住し附近の酸素工場に務めてゐた人、妻キヨさん（三一）と弟が留守を守つてゐる。

磐城青年學校 劍道大會

市内磐城青年學校主催郡下小學兒童劍道大會は六日同校で擧行されたが成績左の如し。

△高點試合（尋常）／平第三酒井俊男、2同青戸隆祐、3同諸橋英祐、4同遠藤芳美、5平一相川文男

（高等）／平一佐藤秀男、2同菅波卯之吉、3好間岩橋力、4同矢澤武一、5平一石井司

△優勝試合（高等）／平一石井司、2同佐藤豐、3同佐藤秀男、4好間矢澤武夫、（尋常）／平三青戸孝祐、2同諸橋英祐、3同遠藤芳美、4同遠藤寛、5同酒井俊男

磐城寫友會 撮影會終了

昨七日カメラマン待望の日ついに快晴、押し寄せた參加者秋の一色に塗りつぶされた中に美しく咲いたポデル數名を想ひ〳〵に撮影、實に盛會であつた。

自殺男は 不良青年

（既報）去る四日江名町中の作料理業馬目八十方で自殺を遂げた同町榮町川崎留吉方蕎子製造伊藤亮（二七）は平署で取調べの結果同人は酒癖が惡く常に實姉より意見されてゐたので、これを悟りこの擧に出たものである。

氷價値下廣告

今般氷價左ノ通リ改正仕リ候間此段謹告候也

昭和十二年十一月吉日

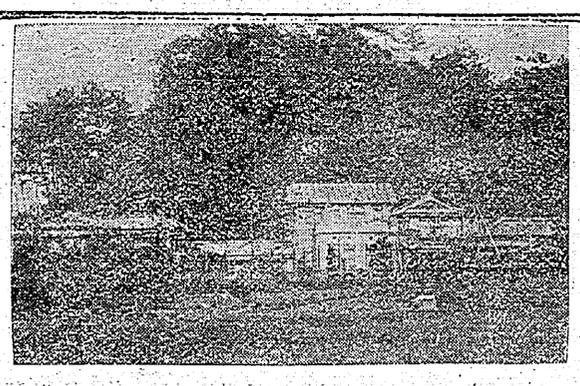
福島縣製氷工業組合

冷藏。飲食。病院用

平市　一貫目ニ付　金拾錢

内郷、湯本、好間、草野、小川、上遠野、上小川、植田　一貫目ニ付　拾參錢

勿來



秋の行樂と小瀧

茸狩の季節となりました。

當鑛泉裏山一帶も出初めました。初茸、あみ茸、しめじは非常に豐富です。

◇天も澄み、心もすがゝしい一日の行樂は……

鐵道省指定旅館
割烹

小瀧鑛泉

電話小名濱一〇三

女中さん募集

平市二丁目

大村屋旅館

電話一七三番

尼子タクシー

電話六四〇番

吸入用酸素

純度99%

秤量度量衡

モノサシ　ハカリ　マス

温度計

体温器　寒暖計

◎秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス（ハカリトリヲ・タマイト・トリカヘ）

◎寫眞機材料一式

關内藥局

電話四〇番

イワキサロン

食事　喫茶　酒場

男給の店

平・田町

（電三五二）

中野齒科醫院

院長　日本齒科醫學士　中野惠次

日本齒科醫學士　西川誠

診療科目

一、齒科一般

保存科　補綴科　齒列矯正科　小兒齒科　齒槽膿漏科

一、口腔外科

一、レントゲン科

◇看護婦至急募集

平市田町（松月堂向）

電話五〇九番

外科・花柳病專門

入院隨意

平市六丁目

木村外科醫院

電話三〇九番

內臟外科　エリキス光線

院長　安齋徹

新設　產婦人科

醫學士　黑澤廣

平市田町

入院隨意

安齋醫院

電話四七五

耳鼻咽喉科

入院自炊の便あり

平市南町（電話一七〇番）

大和田醫院

產婦人科　花柳病科

井坂醫院

平市田町（電話五五九番）

產婦人科　外科　藥局

院長　木村寅次郎

醫學博士　內木宗八

藥劑師　大岩俊雄

入院隨意　病室完備

平市新川町十九

木村病院

電話一六四番

か愛らしいお子樣用

◎冬の御仕度◎

毛編製

毛糸服

毛羽織

ケーブ

毛袖無

スミスオーバ

其の他色々

にツルヤ　電一四〇

夜診療間

胃腸　內科　胃腸病科

性病　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科

專門

松村醫院

平市南町（電一〇七番）

公債・債券・質物一般

三井質店

平市四丁目

電話六〇六番